

# 中央区環境行動計画事業の評価

資料 1

## 2 都市環境 – 環境負荷の少ないまちをつくります –

※青字部分 数値目標を定めていない計画事業に関する記述

施策の柱	施策の達成状況	課題	今後の方向性
①ヒートアイランド対策	<b>（区施設の緑化推進）重点プロジェクト</b> ●壁面緑化 <b>22 施設</b> 、屋上緑化 <b>32 施設</b> の整備が行われ、都市緑化の先導的な役割を果たしている。	<b>（区施設の緑化推進）重点プロジェクト</b> ●屋上や壁面等の積極的な緑化 ●緑化指導や助成制度の積極的な PR などによる民間施設の緑化促進	<b>（区施設の緑化推進）重点プロジェクト</b> ●施設の新築や改築などに併せて、屋上、壁面等の緑化を積極的に推進し、緑豊かで親しみのある施設にする。 ●学校においては、児童の環境学習の教材となるように、ビオトープや緑のカーテンの整備を進める。
	<b>（緑化助成）重点プロジェクト</b> ●民間施設の助成面積が前年度より <b>203 m<sup>2</sup></b> 増加し、緑化の促進が図られている。	<b>（緑化助成）重点プロジェクト</b> （区施設の緑化推進）参照	<b>（緑化助成）重点プロジェクト</b> ●花と苗木の即売会や誕生記念植樹などの事業を通じて、緑化の普及・啓発を図る。 ●屋上、壁面緑化の効用や緑化方法等の紹介などに併せて、緑化助成制度を積極的に PR するなど、民間施設の緑化を促進する。
	<b>（風の道づくり）重点プロジェクト</b> ③良好なまちなみや景観の形成 参照	<b>（風の道づくり）重点プロジェクト</b> ③良好なまちなみや景観の形成 参照	<b>（風の道づくり）重点プロジェクト</b> ③良好なまちなみや景観の形成 参照
	（低騒音舗装、遮熱性舗装、車道透水性舗装） <b>（遮熱性舗装）重点プロジェクト</b> ●低騒音舗装、遮熱性舗装、車道透水性舗装とも計画的に整備を行い、交通騒音の軽減など環境負荷の低減を図った。（平成 27 年度末時点整備面積：低騒音舗装 <b>4 路線 138,072 m<sup>2</sup></b> 、遮熱性舗装 <b>5 路線 58,183 m<sup>2</sup></b> 、車道透水性舗装 <b>6,772 m<sup>2</sup></b> ）	（低騒音舗装、遮熱性舗装、車道透水性舗装） <b>（遮熱性舗装）重点プロジェクト</b> ●ヒートアイランド現象など、都市環境の改善を図る。 →低騒音舗装、遮熱性舗装および車道透水性舗装等の環境にやさしい道路整備の積極的推進	（低騒音舗装、遮熱性舗装、車道透水性舗装） <b>（遮熱性舗装）重点プロジェクト</b> ●交通騒音を低減する低騒音舗装やヒートアイランド現象の緩和に資する遮熱性舗装整備などを引き続き実施し、環境負荷の少ないみちづくりを進める。 ●再開発等の機会を捉え、周辺道路において環境に配慮した道路の整備を促進する。 ●国や東京都の動向を見据えながら、新たな舗装技術に係る性能評価等の情報収集等を行い、積極的な導入を図る。
<b>（建物の排熱抑制、断熱処理等の促進）重点プロジェクト</b> 1 地球環境 ②省エネルギーの推進 参照	<b>（建物の排熱抑制、断熱処理等の促進）重点プロジェクト</b> 1 地球環境 ②省エネルギーの推進 参照	<b>（建物の排熱抑制、断熱処理等の促進）重点プロジェクト</b> 1 地球環境 ②省エネルギーの推進 参照	
②水資源の保全と活用	（車道透水性舗装） ①ヒートアイランド対策（低騒音舗装、遮熱性舗装、車道透水性舗装）参照	（車道透水性舗装） ①ヒートアイランド対策（低騒音舗装、遮熱性舗装、車道透水性舗装）参照	（車道透水性舗装） ①ヒートアイランド対策（低騒音舗装、遮熱性舗装、車道透水性舗装）参照
③良好なまちなみや景観の形成	（街路樹・緑道・街角広場の整備） （街路樹） ●道路改修や再開発に併せて、 <b>3 路線 45 本</b> の新規植栽を行った。 ●低木 <b>195 株</b> や植樹フェンス <b>106.3m</b> を整備し、緑の多層化・連続化を図った。	（街路樹・緑道・街角広場の整備） ●良好な都市景観の形成やヒートアイランド現象などの環境改善を図る。 →地域の要望を踏まえた街路樹等の道路緑化、水辺沿いの公園・緑道の整備、護岸緑化などの積極的推進	（街路樹・緑道・街角広場の整備） （街路樹） ●高木のみならず中・低木の植栽や植樹フェンス等の整備などにより緑の多層化・連続化を図り、量的拡大を進める。 ●花の咲く木や実のなる木、新緑や紅葉が美しい木や昆虫・野鳥な

2 都市環境 – 環境負荷の少ないまちをつくります –

※青字部分 数値目標を定めていない計画事業に関する記述

施策の柱	施策の達成状況	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 樹種については、地域要望を取り入れ、特徴ある樹木を植栽し、緑のネットワークの拡充を図った。 (緑道)</li> <li>● 日本橋川や亀島川の緑化により、護岸緑化の整備率はそれぞれ<b>80%</b>を超えた。</li> <li>● 水辺の緑化が進捗し、水と緑のネットワークが着実に広がった。</li> <li>● 亀島川では緑道整備を行い、水辺に親しめる憩いの空間を創出するとともに、地域の交流の場とすることができた。 (街角広場)</li> <li>● 女橋緑地帯に植栽やベンチの設置を行い、地域に親しまれる憩いの場とすることができた。</li> </ul>	<p>→水と緑のネットワークの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園・児童遊園や緑道、街角広場の整備</li> </ul> <p>→地域に親しまれる憩いや交流の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者や障害者を含めたすべての人々が、安全・安心・快適に利用できるようなバリアフリー化の推進</li> </ul>	<p>ど生き物に配慮した特徴ある樹種を地域の要望を踏まえながら植栽し、沿道の価値やまちのイメージの向上、生き物の回復などにつなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 河川や運河沿いの通路等を人々が散策路として楽しめる緑道にするため、東京都と緊密に連携し、整備を推進する。 (公園・児童遊園・緑道・街角広場)</li> <li>● 地域に親しまれる憩いや交流の場となるようベンチ・花壇等を設置する。</li> <li>● 高齢者や障害者に配慮した段差解消などのバリアフリー化を進めるなど、安全・安心・快適に利用できる施設の整備を推進する。</li> </ul>